

# 雑司が谷プレーパーク 2018.2

## 記録

日時：平成30年2月18日（日）午前10時30分～午後2時

場所：豊島区立南池袋第二公園（らくだ公園）

参加：50人前後

開催のねらい：子どもが、やりたいことを、のびのびと追及して遊べる場所を地域につくる。

準備：敷物、シャボン玉、カッター、ひも、風船、こま、画材、紙

（清水さん：段ボール、清永さん：ロープ、坂田さん：ベーゴマ、コマ、けん玉）

天気：晴、最高気温：9度

活動内容：

- お絵描きあそび：ペン、クレヨン、カレンダー裏紙
- 段ボールあそび：ブロック遊び
- シャボン玉あそび：風が強く、うちわをつかったシャボン玉が木よりも高いところまで飛んだ
- こま、ベーゴマ、けん玉あそび：親子ともども熱中。通りすがりの、近所の元宮大工の84歳のおじいさんが参加し、1時間ほど遊んで行ってくれた。
- ロープ遊び：小学生たちが、アクロバティックに遊んでいた

ふりかえり：

○時折強い風の吹く日。お弁当持参で一日中遊んだ親子も数組。

○清永さん、坂田さん（コマのおじいさん）が、手伝いに来てくださった。皆、コマやけん玉を教えてもらったり、お父さんたちは昔を思い出して熱中していた。通りすがりの元宮大工の86歳のおじいさんが、「こういうところいいねえ」と、昔取った杵柄のベーゴマを思い出して真剣勝負していつてくれた。

→お父さんが、参加・活躍できる遊びがあると、盛り上がる。

→遊びに来てくれた方の間の新しいつながりが生まれる場になるとよいと思った。どうきっかけづくりするか課題。

○今回、小学生の参加、雑司が谷保育園のメーリングをみて、新規で遊びにきてくれた幼児さんが増えた。シャボン玉が遊びのきっかけづくりに役だった。

○ロープを藤棚の支柱の間に張った。小学生たちが、ダイナミックかつアクロバティックな遊びをしていた。

→近隣に「たいこばし」や、「うんてい」などの遊具がある公園がない。小学生以上の子どもたちが思いっきり体を動かしてチャレンジできる遊びの場があるとよい。

次回予定：

2018年3月18日

次回は、段ボール工作をもう少し充実させる予定

次回までのタスク：

○豊島区への後援依頼の準備（2月27日子ども課と打ち合わせ予定。ビラづくり）

○備品：シャボン玉用（キュキュット、せんたく糊）、画材（とくに絵具）、ガムテープ、木工ボンド、工作の素材となるような廃品（毛糸、容器、キャップ、ペーパー芯など）

春夏に向けて：プレーパーク旗用の布地（キャンバス地等の大きな布、アクリル絵具）、ビニールプール

中長期的に：折り畳みテーブル、木工準備

